

女子小学生制服

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0201

インドネシア



インドネシアの国立小学校に通う女子小学生の制服。国立小学校は、ムスリムだけが通うわけではないため、女子用の制服にはいくつか種類がある。長そで・長スカートだけでなく、半そでや、ひざ下丈のスカートもあり、これらを組み合わせて着る。また、曜日によっては 伝統的な衣装を身につけることもある。プライベートでもベールをかぶる女子生徒は、学校でも一年中、丈の長い制服を着て、ベールをかぶる。



福岡先生からのひとこと

インドネシアでは小学校から高等学校まで制服が決められているのが普通です。近年、学校でもベールをつける女子生徒が増えてきました。それに合わせて、くるぶしくらいまである長いスカートが増えてきています。

今村さんからのひとこと

小学生用のベールはかわいい柄付きのものも売っていました。国立小学校教諭の友人によると、白ければなんでもよい、ルールは特にない、とのことでした。

女子中学生制服


世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0202

インドネシア



インドネシアの教育文化省が管理する国立中学校に通う女子中学生の制服。国立中学校は、ムスリムだけが通うわけではないので、女子用の制服にはいくつか種類がある。長そで・長スカートだけでなく、半そでや、ひざ下の長さのスカートもあり、これらを組み合わせて着る。また、曜日によっては 伝統的な衣装を身につけることもある。自宅やプライベートでもベールをかぶるひとは、学校でも一年中、丈の長い制服を着て、ベールをかぶる。


福岡先生からのひとこと

インドネシアでは小学校から高等学校まで制服が決めているのが普通です。近年、学校でもベールをつける女子生徒が増えてきました。それに合わせて、くるぶしくらいまである長いスカートが増えてきています。

今村さんからのひとこと

制服とあわせて使うベールは、白だけではなく、スカートの色に合わせることもあります。ムスリムの友人のなかには、小中高と、登下校中や学校では、ベールをかぶり、長そで・長スカートの制服を着るけれど、プライベートではベールをかぶらず、自由な服装をするひともいました。

男児衣装

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0203

セネガル



※女兒用の場合もあります

セネガルのムスリムの子どもの正装。このような服を日常的に着ることは少なく、^{たんじき}断食月が終わった後の祭りや、イスラームの新年などの機会に身につける。男児用の服は成人男性が着るものと同じデザインだが、女兒用のものは最近の流行を取り入れたものになっているようだ。祭りでは、新調した服を着せてもらうのが子どもたちの楽しみである。

【三島先生からのひとこと】

セネガルでは、服はデザイン雑誌などをみながら注文して作ってもらうのが一般的です。セネガルは「着倒れの国」と異名を持つくらいに人びとがおしゃれです。世界には、ムスリムの女性が身体や髪を隠す地域もありますが、セネガルの女性は大胆なデザインの服を自由に着ています。

男性衣装

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0204

イギリス



成人男性が、結婚式やラマダーン明けのパーティなどに正装して出かける際に着用する衣装。イギリスのムスリムは、インドやパキスタンから移民した人が多いため、このような南アジア風のスタイルが好まれている。この衣装（カミーズ・シャルワール）は、パキスタンの衣料品生産・販売ブランド「ジュナイド・ジャムシャッド」のデザインである。

【相島先生からのひとこと】

とても着心地の良い素材でできています。ウエストは、ゴムではなく、ひもを通してサイズを調節するので、パーティで食べ過ぎても安心ですね。

チャードル（伝統モデル）

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0205

イラン



イランなどで用いられる女性の全身を覆う布。一枚布でできたチャードルは、19世紀まで礼拝の際に限って用いられていたが、ヨーロッパの服飾の影響によって女性の装いに変化するなか、外出用にも身につけられるようになった。イランで女性が礼拝をするときには、必須のアイテムである。カラフルな花柄などもあるが、黒色のチャードルはもっとも好ましい服装とされている。

【黒田先生からのひとこと】

イランの服飾市場では、既製品のチャードルだけでなく、オーダーメイドすることもできます。黒色のチャードルと一言で言っても、いろいろな柄があります。それらの布の生産地は、イランはもとより、世界各地のものがあ、当然日本で織られた布もあります。

チャードル（大学生モデル） G0206

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

イラン



イラン・イスラム共和国では、女性は外出時に布で頭髪を覆うことが事実上義務付けられている。なかでも黒いチャードルは、もっとも好ましい服装とされてきた。ところが、伝統的なモデルは、一枚布のため、正しく身にまとうためには、いつも片手で抑えておかなければならず、動きづらさもある。大学生モデルは、袖を通すことで両手が自由になるため、ある程度の動きに対応でき、勉強しやすいようになっている。

【黒田先生からのひとこと】

外から見てもわかりづらいですが、黒いチャードルにも、様々な仕立ての方法があります。実際に着てみると、それぞれの仕立ての方法に特徴があることがわかります。

ベール

世界のムスリムの暮らしー同時代を生きる

G0207

中国



※ 色が違う場合があります



イスラームでは、女性は「美しいところは人に見せぬよう」にすることが望ましいとされ、頭髪をしっかりと覆うベールをかぶったりする。そのベールを、アラビア語でヒジャーブという。中国の回族も、成人女性は頭からすっぽりかぶるタイプのものを使ったりしている。子ども向けのものとしては、四角い布でできた「ファンジン（方巾）」というものが、頭を覆ってから、あごの下に回した部分をクリップでとめて着用する。中国の中でも地域や年代によって差がある。

【横山先生からのひとこと】

中国の南部の雲南省でも、1990年頃まではムスリムの女性がヒジャーブをつけているのをあまり見かけたことがありませんでした。しかし、21世紀に入った頃から状況が一変しました。ほとんどの若い女性がヒジャーブを日常的に身につけるようになりました。

【今中先生からのひとこと】

中国の西北部の陝西省西安市では、日常的にヒジャーブを着用している女性はあまり多くありません。年配の女性の中には、普段、白い帽子をかぶっている人もいます。ただし、礼拝の時はヒジャーブに着替えて女性用のモスクに集まってきます。

ベール

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0208

マレーシア



※ 色が違う場合があります



イスラームの教えでは、女性は「美しいところは人に見せぬように」と言われ、たとえば顔と手以外を隠し、近親の者以外には見せないようにしなければならないという考えがある。熱帯気候の東南アジアで頭をベールでおおい、全身を隠すような服装をすることは暑くて大変ではないかと思われるが、近年、イスラームの教えを厳密に守ろうとする人々が増えるなか、東南アジアでも外出時にベールを着用する女性が増えてきた。

【信田先生からのひとこと】

これらは、マレーシアで出店されているユニクロの商品の一部です。マレーシアでは色彩豊かで華やかなベールが多いので、ユニクロの商品は、やや地味な印象を受けます。日本のユニクロでも、ベールが売られているそうです。

ベール

世界のムスリムの暮らしー同時代を生きる

G0209

セネガル



※ 色柄・種類が違う場合があります



ムスリムの女性が頭にかぶるいわゆるヒジャーブと呼ばれるベールは、セネガルでは1990年以前は一般的ではなかった。1989年にフランスのパリ郊外で、ムスリムの女学生がベールをかぶって学校へ来たことが理由で公立学校を退学処分になった事件があった。これ以後、サウジアラビアなどイスラーム諸国の圧力と扇動が高まり、セネガルでもムスリム女性はベールをすべしとの空気が一部で広まった。

【三島先生からのひとこと】

セネガルでは、イスラームの習慣以外にも、女性が服と同じ布のスカーフをさまざまな形に頭に結んで着飾るのがおしゃれとたしなみです。

女兒礼拝着

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0210

パキスタン



ヒジャーブとは「覆うもの」という意味のアラビア語で、主にムスリムの女性が頭や髪を覆いかくすためにかぶるベールのことを言う。ヒジャーブと一言で言っても、例えばショール状のドウパッター、頭からかぶるけど顔は出すチャードル、目だけを出すニカーブ、目の部分もメッシュで覆うブルカなど、地域、宗派、好みに合わせたさまざまなタイプがある。イスラームの教えでは、女性はかくすべきところをヒジャーブでかくしなさいと定めている。

【吉岡先生からのひとこと】

どうして髪や顔をかくすのかと聞いてみたら、家族でもない男の人が、女の人髪や顔を見ると、すぐにドキドキして好きになっちゃうからなんだよって説明されました。きれいで魅力的で、男の人たちにとって目に毒だから、かくしたほうが良いのだそうです。

アイシャドウ

G0211

パキスタン

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる



石のアイシャドウ

目の周囲、特にまぶたに暗い色をつける化粧のための道具。例えば、ニカーブを着けている女性などは目の辺りしか素肌をさらさずに生活しているので、唯一の人目につく部位である、目元のたしなみを特に大切にしている。また、小さい子の目の周りに塗った場合には、美しく飾る化粧ではなく、魔除け・病気除けの意味合いがある。アイシャドウで目を大きく見せることで、いわゆる「めぢから」が強くなり、悪者や魔物の視線をはね返す効果や、病気を運ぶ虫などが目元につくのを防ぐ効果がある。

【吉岡先生さんからのひとこと】

今時の街で販売されているアイシャドウは、加工品の粉末やペーストなどを筆などで塗りつけるのが主流ですが、山村で見たのは昔ながらのやりかたで、黒い石の粉末を石の棒でこすり付けていました。その時、アーモンドやアズノ種の油を混ぜて、色を鮮やかにしたりもします。

リップグロス

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0212

アメリカ



イスラームには口にするものにさまざまなルールがあるが、最近では肌につけるものにもルールにのっとったものかどうか意識されるようになった。とくに、口紅は直接口に入るため、どのような原料で作られているかが重要である。このリップグロスはムスリム向けの化粧品メーカーが作ったもので、他にも礼拝のときに手足を水で清めるのに適しているマニキュアなどもある。

【椿原先生からのひとこと】

アメリカでは一般的な化粧品についても、安全な原料でできているか、動物実験をしていないかどうかなど、製品の作られ方に高い関心が寄せられています。ムスリム向けの化粧品も、そうした関心の高まりの上にあるといえるでしょう。日常的に口紅をつける人は一生に2kgから4kgもの口紅を食べることになるといいますから、原料は気になるところですね。

やくよ

厄除け用墨

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0213

インド



ビヤクダン

白檀を浸した布を芯にして、ひまし油を燃やしたランプでできた墨が原料。インドではムスリムだけではなく、ヒンドゥー教徒も用いる。アイライナーのように眼のまわりに指で薄くひく。眼の健康によいとされ、また美容用品としても使うが、邪視ジャシと呼ばれる災いから身を守る効果があると信じられていて、邪視に弱いとされる乳幼児の眼にもつけることがある。

【三尾先生からのひとこと】

邪視は中東から南アジアにかけて広く信じられている災いで、誰かをねたむ人の視線が、ねたまれた相手に病気やさまざまな不運を引き起こすというものです。この墨が邪視よけに効果があるわけとしては、墨が邪悪な視線を吸い取るからとか、美しい眼をわざと黒くすることでねたみの感情を起かさせないからなどという説があります。



地元の少女らにメヘンディーを描かれた吉岡先生の左手

ヘナ、またはヘンナと呼ばれる植物の葉っぱは、髪や肌をオレンジ色に染めるのに用いられる。南アジアなどには昔から、特に女性が、ヘナ染めで肌に模様をペイントする、「メヘンディー」と呼ばれる習慣がある。泥のような状態のヘナできれいな模様を手などに描き、30分ほどしてヘナが乾いたら洗い落とす。そうすると、ヘナを付けたところの肌がオレンジ色に染まり、1～2週間は持続する。ヘナは白髪染めにも用いられるので、南アジアでオレンジ色に髪を染めている人が多いのは、そのためである。

【吉岡先生からのひとこと】

イスラームのお正月などに、女の子は好んでメヘンディーを描きます。基本的に男性はしませんので、男なのに村の女の子たちにメヘンディーを描かれてしまったわたしは、みんなから「お前は女なのか、男なのか？」と笑われてしまいました。

ファッション雑誌

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0215

マレーシア・イラン・
インドネシア



2016年～2017年にイラン、マレーシア、インドネシアで集められたファッション雑誌。

有名人のスタイル紹介とインタビュー、化粧の仕方、衣服の縫い方、また、女性ムスリムとしての生き方に関する記事なども掲載されている。イランの雑誌で特徴的なのは、実際の方がモデルをしている場合、顔の部分マネキンのように画像加工されているところである。



山中先生からのひとこと

服の色やアクセサリとの組み合わせ、巻き方にも流行があります。このパックに入っているベールを実際に試着する際に、巻き方の参考にしてください。



福岡先生からのひとこと

インドネシアのムスリム女性のファッションは、とてもカラフルで華やかなのが特徴です。自分のブランドをもち、インターネットで積極的に発信するファッション・デザイナーは、女性があこがれる職業の1つになっています。



信田先生からのひとこと

ベールをかぶっている女性モデルが表紙になっている雑誌やテレビ・コマーシャルは、マレーシアではよく見かけます。身体のスタイルや髪型はあまり関係ないので、モデルさんはどのようにして選ばれるのでしょうか？

コーラン（クルアーン）

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0216

日本



預言者ムハンマドが神から聞いた言葉を記したイスラームの聖典。ムスリムの家庭には必ず一冊はある。神がアラビア語で伝えたため、他の言語に翻訳したものはそのままの神の言葉とはみなされない。世界中のムスリムは子どもの頃から、コーランを暗記する訓練を受け、アラビア文字を学ぶ。内容を理解しやすいように、その国の言葉の「解説」が付される。

【山中先生からのひとこと】

日本のキリスト教信者は日本語で賛美歌を歌ったり、聖書の言葉を唱えます。日本語になることで、神の言葉でなくなるということはありません。しかし、イスラームの場合は、神はアラビア語でムハンマドに啓示^{けいじ}を下したので、神の言葉はあくまでもアラビア語でないとはいけません。

じゅず
数珠

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0217

マレーシア・
ウズベキスタン



※色が違う場合があります

イスラームで使う数珠。神様をたたえる言葉を唱えた回数を数えるために使う。イスラームの神アッラーには99の別名があるとされ、玉の数は基本的には99個（大）だが、33個（小）のこともある。玉の数が決まっているので、指を折って回数を数えるよりも、お祈りに集中することができる。



寺村先生からのひとこと

解説で「玉の数は決まっている」と書きましたが、玉を束ねている箇所にも数個使われていたり、33個または11個ごとに形の違う玉が入っていたり、数珠によってもけっこう数が違ったりします。みなさんが手にされた数珠は、玉の数は何個だったのでしょうか？実際に数えてみて、国によって違うのか、同じ国でも数珠によって違うのか、比較してみたら面白いかも！？



信田先生からのひとこと

指で数えたりすると、忘れてしまうので、こうした道具が作られたらいいです。仏教でもキリスト教でも似たような数珠があるのですが、数珠というのは、本来、そういう役割があるのかもしれないですね。どうして33という数字が重要なのか、考えてみてください。礼拝の後に、99回、神を称える言葉を唱える。スプラーナッハー/Subhanallah(神聖な全能の神)という言葉が33回アル=ハムドリッラー/Alhamdulillah(アラーの偉大さ)という言葉が33回アッラーフアクバル/Allahu Akbar(全能のアラー)という言葉が33回

電子タスビーフ

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0218

パキスタン



タスビーフとは、お祈りの言葉を唱えた回数を数えるための、^{じゆず}数珠のことである。この機械は、その数珠の変わりに回数を数えるための道具で、お祈りのたびにボタンを押し、何回ボタンを押したかが表示される仕組みになっている。

【今中先生からのひとこと】

他の用途にも使えそうですね。

野鳥の数を数えたり、走っている車の数を数えたり。

礼拝カウンター

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0219

イラン



1日5回の礼拝には、それぞれ定められた回数、一定の動作を行う。礼拝カウンターでは、素焼きの土の部分に平伏へいふくの際、額ひたいを当てて回数をカウントしていく。イランやイラクの多くのムスリムは、礼拝の際に地にひれ伏すためにこのような素焼きの土の部分がついている。こうしたシンプルなカウンターだけでなく、礼拝の方向を指し示すための方位磁石がついたものもある。

【黒田先生からのひとこと】

参詣地のお土産屋や宗教グッズを扱うお店で売られているのをよく見かけます。でも、実際これを使って礼拝している人を見つけたことはありません。

バッグ型礼拝用敷物

世界のムスリムの暮らしー同時代を生きる

G0220

中国



1日5回の礼拝を守ろうとするムスリムの人びとは、旅行に出かける時に、携帯に便利な礼拝用敷物を持参する。自宅などには敷物が置いてあるし、モスクに行って礼拝する場合も必要ないが、旅先でも礼拝をするための準備である。これはバッグに敷物をたたんで持参する方式だが、ショルダーバッグの周囲のファスナーを開くとバッグの内側が長方形に広がり、それが敷物になるものもある。



今中先生からのひとこと

回族の経営する宗教用品店には、手の込んだ刺繍の施されたものだけでなく、より簡便なビニール製のバッグ型敷物も売られています。そのようなビニール製のものには、敷物を取るバッグに、メッカの方向を示す磁石が付いているものもあります。

横山先生からのひとこと

私が中国雲南省で車をチャーターし調査に行った時、運転手は回族というムスリムの少数民族の方でした。休憩の際、運転手さんはショルダーバッグを肩からさげて、少し離れた岩かげに移動しました。バッグのファスナーを開くと、なんとそれが敷物になり礼拝が始まりました。運転手さんによれば、1日5回の礼拝時間は決まっているけれど、仕事の都合でその時間にできなければ、できる時にすればよい、ということでした。20代後半ぐらいの若い方でしたが、毎日、欠かさず礼拝をしている様子でした。

ステッカー

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0221

アメリカ



左から、イスラームを表す^{しんせいげつ}新月、ピースマーク、男性と女性を表す記号が合わさったもの、ユダヤを表す^{ろくぼうせい}六芒星、^{ほうりん}仏教を表す法輪、^{たいきよくず}道教を表す太極図、キリスト教を表す十字架が描かれ、それぞれをアルファベットに見立てて”COEXIST (共存)”と読めるようになっている。異なる宗教や価値観の共存する平和な世界を願うメッセージが込められているデザイン。主にファッション雑貨店で売られている。

【椿原先生からのひとこと】

アメリカではこのステッカーを車の後部につけているのをしばしば見かけることがあります。ムスリムがアッラーの文字をかたどったネックレスをつけたり、ユダヤ教徒がダビデの星（六芒星）のネックレスをつけるなど、自分の信仰する宗教が何であるかを人にわかるように示す人も多いです。何のために、どんな気持ちでそうしているのか、考えてみてください。

はみがきセット

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0222

中国



※ 種類が違う場合があります



清潔を旨とするムスリムは口臭にも気をつけており、礼拝前^{もくよく}の沐浴で口をすすぐだけでなく、沐浴前に歯を清潔にすることも勧められる。アラブ世界においては、歯を清潔にする道具として、スイワークやミスワークなどと呼ばれる、小枝^{ようじ}を用いた歯ブラシや楊枝が使われていた。最近では、中国でも輸入品のスイワークを入手することができるが、一般にはプラスチック製の歯ブラシが普及している。



横山先生からのひとこと

中国の人口の9割以上は漢族ですが、「漢族あれば、必ず回族あり」と言われるように、ムスリムである回族は全国各地の都市に住んでいて、たいていモスクのある一角に、ムスリム用商店があります。お祈り用の道具からムスリム用の日用品まで、何から何までそろっているのに感心します。

今中先生からのひとこと

日常的に用いるものとしては、すっかりプラスチック製の歯ブラシが浸透しています。しかし、スイワークもまた、ムハンマドも使っていた歯ブラシとして好んで使う人もいます。

ハラール石けん

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0223

中国



イスラームでは、身体を清潔に保つこともまた信仰の一部とされる。身体が汚れた状態での礼拝は有効ではないとされるため、礼拝前に沐浴を行い、手足や顔、口などを丹念に洗い浄める。このようなムスリムにとって、石けんも大切な日用品のひとつである。動物性原料を使っていない植物性油脂を原料とする石けんが好まれる。



今中先生からのひとこと

石けんは、タオルなどとともに、冠婚葬祭の贈答品としてもよくもらいます。私も、とある宗教行事に参加した際、手土産として石けんタオル、ジュースをいただいたことがあります。

横山先生からのひとこと

ムスリム用の石けんの包装には、ムスリムが好む青や緑の色が多く使われているように思います。もちろん、青や緑は清潔感があって、石けんには似合った色合いかもしれませんが。



ハラールのマークではないけど、イスラームの象徴的な目印だよ。さがしてみよう！

ハラール食品店看板

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0224

中国



イスラーム法的に合法的な食品、すなわちハラール食品を提供していることを示すプレート。中国語でハラール食品のことを「清真食品」といいますが、それを扱う店には必ずこれらの表示がある。プレートには、モスクや水差しなどの絵が描かれ、中国語の「清真」・「清真古教」といった文字や、アラビア語によるコーランの一節や信仰告白（シャハーダ）の文句が添えられる。



横山先生からのひとこと

もともと中国語の「清真」には「高潔」や「純真」という意味がありました。その後この言葉を「清真教」と呼ぶなど、イスラームに対して使われるようになりました。明代頃からイスラームと結びついた使用が始まったようです。現在、中国では、このようなハラール食品店の看板だけでなく、さまざまなところで「清真」の文字が使われ、それがイスラーム関連の事からであるという認識は、中国人一般に広く浸透しています。

今中先生からのひとこと

ただし、ムスリムである回族由来とされる料理（羊肉のしゃぶしゃぶ、牛肉ラーメンなど）を出す店であっても、ムスリムではない人々が経営している場合があるので、ハラール食品を提供しているかどうかは、ハラール認証表示の有無で確認する必要があります。

ハラール食品

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0225

アメリカ



ハラールは、イスラームの教えで許された商品や活動を意味する。ハラール食品は、イスラームの教えで許された原材料を使ってつくられた食品を指す。また食品を製造・加工する際に、イスラームの教えで許されていない材料との接触も避ける必要もある。近年では、ハラールは食品だけでなく、化粧品や医薬品、介護用品、金融などのサービスにも適用される。



ハラールのマークだよ。
どこについているかな？ さがしてみよう！



椿原先生からのひとこと

この冷凍食品は、食に気を使うアメリカのムスリムが、
さまざまな種類の料理を手軽に楽しめる
画期的な商品シリーズです。
お味の方は、健康志向を反映して大変うす塩でした…。

ハラール食品

G0226

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

中国



中国でも、イスラーム法的に合法的なハラール食品がさまざまな形で展開している。インスタント食品、チキンブイヨンなどの調味料、さらにはお菓子まで、その種類は多岐にわたっている。パッケージにはハラールマークが記載されており、一目でハラール食品であることがわかる。

ハラールのマークだよ。
どこについているかな？ さがしてみよう！

横山先生からのひとこと
中国では、ムスリム用の食品は、ムスリム以外の中国人からも好まれているようです。全国展開している著名な菓子類製造企業もムスリム食品会社です。

ハラール食品

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0227

マレーシア



ハラールは、イスラームの教えで許された商品や活動を意味する。ハラール食品は、イスラームの教えで許された原材料を使ってつくられた食品を指す。また食品を製造・加工する際に、イスラームの教えで許されていない材料との接触も避ける必要もある。近年では、ハラールは食品だけでなく、化粧品や医薬品、介護用品、金融などのサービスにも適用される。



信田先生からのひとこと

ハラール・フードには、
ハラールであることを認めるマークが付いています。
ムスリムのマレー人は、
このマークが付いている商品を買うようにしています。



ハラールのマークだよ。
どこについているかな？
さがしてみよう！

黒田先生からのひとこと

味の素は東南アジアでも欠かせない調味料となっています。
そのため味の素の原料に、豚からとった酵素が使われていたことが
インドネシアで発覚した際には、大問題になりました。

ハラール食品

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0228

イラン



ハラールは、イスラームの教えで許された商品や活動を意味する。ハラール食品は、イスラームの教えで許された原材料を使ってつくられた食品を指す。また食品を製造・加工する際に、イスラームの教えで許されていない材料との接触も避ける必要もある。近年では、ハラールは食品だけでなく、化粧品や医薬品、介護用品、金融などのサービスにも適用される。



ハラールのマークだよ。
どこについているかな？さがしてみよう！



黒田先生からのひとこと

イランで一般的に流通している食品はいずれもハラールで、あえて表記する必要もありません。最近ではハラールと書かれた食品を見かけるようになりましたが、それを気にして買う人はほとんどいませんよ。

ハラール食品

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0229

日本



ハラールは、イスラームの教えで許された商品や活動を意味する。ハラール食品は、イスラームの教えで許された原材料を使ってつくられた食品を指す。また食品を製造・加工する際に、イスラームの教えで許されていない材料との接触も避ける必要もある。近年では、ハラールは食品だけでなく、化粧品や医薬品、介護用品、金融などのサービスにも適用される。肉類には加工の過程で決まりがあるが、植物性のはすべて原則的にハラールである。

【菅瀬先生からのひとこと】

最近ではファストフードとして、すっかりおなじみになったケバブ。お祭りの屋台でもみかけるけど、もう20年以上の歴史があるんだって。ハラールフードを売っているお店には、インドやパキスタン、トルコなど、日本で暮らすムスリムの人たちの出身地の缶詰・レトルト食品（もちろんハラール）もたくさん扱っているんだ。だからムスリムだけではなくて、エスニック料理が好きな日本人もよく訪れるよ。

ムスリム向けメニュー

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0230

日本



イスラームの教えを日本人にわかりやすく伝える雑誌も登場した。冊子NOORでは、(おもに結婚によって)イスラームに改宗した日本人女性を対象として、日本で手に入る食材で、日本食メニューのハラール料理を作るレシピも紹介されている。ハムは本来、豚肉でつくるものだが、豚肉はイスラームで禁じられているため、鶏肉のハムの作り方が掲載されている。外国人観光客が増加している現在、飲食店でもムスリムを呼び込むため、ハラール料理を出しているところもある。アルコールを禁じるイスラームは、つくる過程で材料を発酵させるしょうゆやみりんを多用する和食とは、本来あまり相性がよくない。それでも京都嵐山の京料理屋よしやでは、ハラールの純和食を工夫して提供している。

【菅瀬先生からのひとこと】

以前は、日本でムスリムと一緒にお店に入り、「動物性のものは除いてください」と頼んだにもかかわらず、パスタやサラダにベーコンやハムが混ざっていることがよくありました。しかし、最近はだいぶ変わってきているようです。最近はハラールのしょうゆも開発されていて、日本の食品会社のハラールに対する関心の高さがうかがえます。ただし、さしみや寿司のように、魚を生食する慣習は西アジアや南アジアの人びとには抵抗があるようです。

マンガ付き小説

『オリンの日記 第1巻 最後の決断』

G0231

インドネシア

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる



この『オリンの日記』は、マンガ付き小説で、現地では小説（ノベル）とマンガ（コミック）を合わせてノミックとよばれている。ムスリムの女子高生オリンが、学校や家庭で出会うさまざまな出来事や悩みを描いている。インドネシアでは、国の5原則の1つとして、唯一神への信仰をもつことがうたわれている。そのため、若者の生活を描く小説やマンガにも、宗教にかかわるテーマがひんぱんにあらわれてくる。

【福岡先生からのひとこと】

インドネシアでは、ムスリム女性だからといって、必ずベールをかぶらなければならないわけではありません。しっかりとした信仰と自覚をもってかぶることが大事だと考えられています。そのため、なぜベールをかぶるにいたったのかという理由と覚悟が大切にされます。

『オリンの日記』第1巻は、女子高生オリンがベールをかぶる決断をするお話です。ベールをかぶったテコンドーの先生に出会い、ベールをかぶりたいというオリンの気持ちは高まっていきます。宗教を異にする友人たちとの友情や、やりたいことが制限されてしまうのではないかと心配を抱えています。信念を貫いてベールをかぶります。友人もそうしたオリンのことを理解してくれます。

ボードゲーム

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0232

パキスタン



どこの国でも、子どもが興味を持つのは、何よりも「楽しいこと」である。これは、すごろくとクイズを合わせたようなボードゲームになっていて、このゲームを遊ぶことで、世界にある有名なモスクや、イスラームに関するさまざまな知識を学ぶことができるようになっている。

【吉岡先生からのひとこと】

楽しいゲームをしながら勉強もできるなんて、素晴らしい発明ですね。

ボードゲーム

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0233

アメリカ



イスラームではコーランや個人的なお祈り（ドゥアー）の内容、預言者ムハンマドの家族や弟子たちのこと、イスラームが成立したころの歴史や由緒ある土地のことなど、覚えるべきことがたくさんある。このゲームはすごろくのように駒を進めながら、カードをひいてクイズに答えることで、コーランをはじめとするさまざまな知識をつけていくことができるようになっている。

【椿原先生からのひとこと】

このゲームで遊ぶ子ども達の親世代には、コーランなどをアラビア語でよむことができてもその意味を知らないということは結構あります。このゲームで遊んだら、親御さんも知らないようなことまで覚えられそうですね。



コーランのいくつかの章句しょうくの他、ムスリムが日常的に唱える個人的なお祈り（ドゥアー）を覚えるためのおもちゃである。トイレに入るとき・出るときや、家に入るとき・出るときに唱える言葉や、朝起きたときや夜寝るときにひとりで唱える言葉もある。くしゃみをした人へのドゥアーなど、とっさのときに声をかけるやり方も覚えられるようになっている。

【椿原先生からのひとこと】

家やトイレに出入りするときに祈りの言葉を唱えるなんて、大変だと思うかもしれませんが、みなさんが誰もいなくても「行ってきます」や「ただいま」、「いただきます」や「ごちそうさま」を言わないとなんだかすっきりしないと思うのと同じかもしれません。ただし、ちょっと長くて覚えるのが大変なものもありますね。

クマのぬいぐるみ

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0235

イギリス



イスラームの挨拶や童謡、礼拝用のコーランの章句しょうく、ウドゥーきよ（礼拝前の浄め）の仕方といったイスラームの基本をイギリス人の子どもに教えるおもちゃである。右手のボタンを押すと、「アッサラーム・アライクム！あなたがたの上に平安がありますように。ポクはウマル、おしゃべりなテディベアさ。」とアラビア語と英語で挨拶する。「きらきら星」など日本でも有名な童謡をアカペラで、イスラーム的メッセージをこめて歌っている。

【相島先生からのひとこと】

ウマルがイギリス英語を話していることには気づきましたか？このおもちゃを購入したマンチェスターのイスラーム・グッズ店の店員によると、ウマルの声の担当をしたのは、このおもちゃを考案した会社の社長のお孫さんだそうです。

音楽CD

世界のムスリムの暮らしー同時代を生きる

G0236

マレーシア



※CD が異なる場合があります

マレーシアの歌手シティ・ヌールハリザのCD。1996年、17歳で歌手デビューしたころ、彼女はアイドル的な存在であったが、その後、結婚をして、今ではマレーシアを代表する国民的歌手となっている。近年では、ムスリムとしての信仰心を示し、国民の模範となるためであろうか、ベールをかぶるようになった。

【信田先生からのひとこと】

デビュー当時のシティ・ヌールハリザは、可愛くて歌もとても上手で絶大な人気がありました。つてをたどって、サインをもらったことがあります。

絵本「世界の宗教」

(アンゲラ・ワインホルド著)

G0237

ドイツ

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる



ドイツのラーヴェンズブルガー社の「学べる図鑑なぜ?なぜ?シリーズ」の一冊。仏教、ヒンドゥー教、イスラーム、ユダヤ教、キリスト教といった主要な世界宗教について4~7歳の子どもの向けにイラスト入りで解説している。宗教の起こり、神、儀礼などについて、コンパクトにまとめられているので、かなり一般化されてしまっている。

【山中先生からのひとこと】

ラーヴェンズブルガー社は、子ども向けの楽しい学習本を出版している会社です。「学べる図鑑なぜ?なぜ?シリーズ」の「恐竜」や「宇宙」の巻は日本でも翻訳版が出ていますが、「宗教」の巻はまだのようです。子どもの素朴な質問に答えるかたちでまとめられていますが、大人でも結構ためになります。

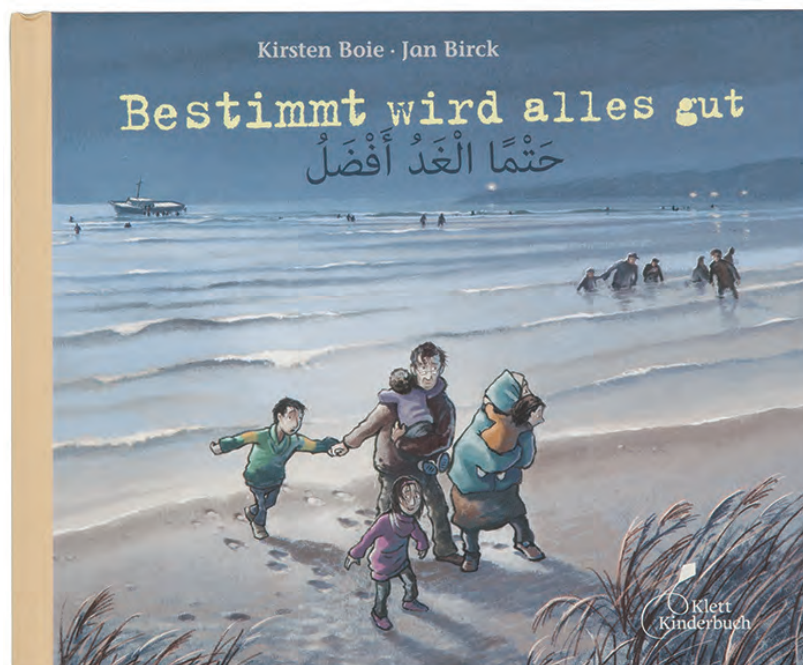
絵本『きっとうまくいくよ』

G0238

(文:キアステン・ボイエ、絵:イアン・ビルク、アラビア語訳:マフムード・ハサネイン)

ドイツ

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる



アフリカや中東から、大勢の難民がヨーロッパに流れ込んだ2016年に、ドイツで出た子ども向けの絵本。親戚たちと住んでいたシリアの大きな家を爆撃で失い、3人の兄弟と父母とともに地中海を渡ってドイツに逃れた10歳の女の子ラハフと9歳の弟ハサンの体験を中心に語られている。物語はドイツ語とアラビア語の二か国語で書かれていて、本の最後には「名前は?」「ともだちになろうよ」といった簡単な表現が二か国語でまとめられている。

【山中先生からのひとこと】

戦火を逃れ、ラハフの家族はなんとかドイツにたどり着きます。でも、言葉がわからず学校になじめないし、お父さんも医者としての腕をいかせる仕事につけません。想像してみてください。自分の町が戦争や災害で住めなくなったらどうしますか?ラハフのような体験をした子が転校してきたら、どのように迎えてあげられますか?

イスラーム教育本

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

G0239

日本



非ムスリムにもイスラームについて理解してもらうために、モスクやイスラーム文化センターのなかには、こうした冊子を独自に作成し、無料で配っているところもある。青い冊子はイスラームでは何を信じているのか、何をしなければならないのか、そして千数百年の歴史を誇るイスラームが世界に広がりどのような文明を築いてきたのかを解説している。もう一つは、預言者ムハンマドが生前話した言葉のなかから特に重要と思われる40の言葉を選び出したものである。

【黒田先生からのひとこと】

日本には14万人を超えるムスリムが暮らし、100カ所以上のモスクがあるとされています。世界のイスラームについて学ぶことは、今や自分たちの社会を学ぶことでもあるのです。

ムスリム用案内パンフレット

G0240

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

日本



中東だけでなく、アフリカ、東南アジア、中国、南アジアなど世界各地から、仕事、留学、観光のために来日するムスリムが初めて日本を体験する空港には、彼らが安心して祈ったり、食事をしたりするための施設がもうけられている。空港のインフォメーションでもらえるムスリム用案内パンフレットは広く通じる英語で書かれていて、礼拝室やハラール・フードを提供するレストランなどの場所が示されている。

【山中先生からのひとこと】

敬虔なムスリムは日に5回、メッカの方向に向かってお祈りをします。旅行で移動中は簡略化してもよいのですが、身を清め、心静かに祈りができる空間が求められます。最近では空港だけでなく、大きな駅や商業施設、大学などでも礼拝室の設置が検討されているようです。外国からきたムスリムの人に、食べ物や身だしなみに気がつかいながら接する機会は、めずらしいことではなくなりました。